

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7146854号
(P7146854)

(45)発行日 令和4年10月4日(2022.10.4)

(24)登録日 令和4年9月26日(2022.9.26)

(51)国際特許分類 F I
D 0 6 F 57/12 (2006.01) D 0 6 F 57/12 H

請求項の数 1 (全6頁)

(21)出願番号	特願2020-116717(P2020-116717)	(73)特許権者	517207129
(22)出願日	令和2年6月10日(2020.6.10)		青井 久生
(65)公開番号	特開2021-194496(P2021-194496 A)	(72)発明者	大分県国東市国東町田深1382番地 青井 久生
(43)公開日	令和3年12月27日(2021.12.27)		大分県国東市国東町田深1382
審査請求日	令和3年5月20日(2021.5.20)	審査官	木戸 優華
特許権者において、権利譲渡・実施許諾の用意がある。			
最終頁に続く			

(54)【発明の名称】 簡単に取付け取外しの出来る屋内物干アーム

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】

物干しアームは本体長方形状平板と、鋸形状金具の2個の部材で構成をなし、
 前記本体長方形状平板は横方向に長使いとし、
 前記本体長方形状平板の上部隅角部寄り位置に物干しアーム取付け金具の前記鋸形状金具
 を挿入する主軸穴を、
 前記上部隅角部寄り位置の主軸穴を中心に円弧状に複数個の前記物干しアーム取付け金具
 の前記鋸形状金具の他方側挿入穴を、
 前記上部隅角部寄り位置の主軸穴に前記鋸形状金具の一方側を挿入し、
 この前記鋸形状金具の他一方側を円弧状に複数個の他方側挿入穴の一つに挿入し、円弧状
 に複数個の他方側挿入穴の選択は柱、建具他取付け対象物の巾寸法と前記物干しアームの
 前記本体長方形状平板が水平に保持される位置を適宜選り前記鋸形状金具を双方の主軸穴
 と他方側挿入穴に挿入し、
 この前記鋸形状金具が柱、建具他取付け対象物を跨ぐことで取付け対象物を挟み前記本体
 長方形状平板の主軸穴を支点にモーメント荷重で締め付けズレ落ちを防ぐことをなし、前
 記鋸形状金具の挿入のみで柱、建具その他取付け対象物に固定できることを特徴とする物
 干しアーム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は簡単に取付け、取外し収納の出来る屋内物干アーム、ハンガー掛けに関する。

【背景技術】

【0002】

これまでのハンガー掛けは壁、柱面にビス、釘などの金具で固定する方式で取付け対象物に傷をつけ、工具も必要とした また直接鴨居やカーテンレールに取付けていたので使い勝手が悪かった。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【文献】特開2020-049132号公報

10

特開2020-056257号公報

特開2004-329581号公報

特開2024-305448号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

上記文献1、文献2ともに壁面に固定支持し、
使用するために限られた場所に限定される事が難点である。

【0005】

文献3は腕部を使用時は伸ばし、
不使用時は収縮することで干渉の範囲は少なくて良いが固定という欠点がある。

20

【0006】

文献4は腕を左右に動かすことで場所を取らなくしているが、これも一定の箇所での使用で欠点がる

【課題を解決するための手段】

【0007】

上記課題を解決するため本発明は部材を少なく単純な構造にすることで簡単に取付け対象物に誰で容易に取付け出来、取り外す事もできる構造となし、

物干しアームは本体長方形平板と、鋸形状金具の2個の部材で構成をなし、

該物干しアーム本体長方形平板は横方向に長使いとし、

30

上記物干しアーム本体長方形平板の上部隅角部寄り位置に前記物干しアーム取付け金具の鋸形状金具を挿入する主軸穴を、

上記隅角部寄り位置の挿入用主軸穴を中心に円弧状に複数個の物干しアーム取付け金具の鋸形状金具の他方側挿入穴を、

該前記隅角部寄り物干しアーム取付け金具挿入主軸穴に鋸形状金具の一方側を挿入、

この鋸形状金具の他一方側は円弧状に複数個の穴の一つに挿入、

上記円弧状に複数個の挿入穴の選択は柱、建具又は取付け対象物の巾寸法と物干しアーム本体が水平に保持される位置を適宜選び鋸形状金具を双方の穴に挿入、

この鋸形状金具が柱、建具又取付け対象物を跨ぐことで取付け対象物を挟み物干しアームのズレ落ちを防ぐことをなし、

40

鋸形状金具挿入のみで柱、建具その他取付け対象物に固定できることを特徴とする物干しアームである。

【発明の効果】

【0008】

構造が単純なため、取付け取外しが簡単にできる。

取り扱いが簡単のため必要な時に、いつでも設置できる。

部材が少ないため、収納場所を取らない。

【図面の簡単な説明】

【0009】

【図1】本発明の物干しアーム本体平板Aの形状と挿入穴E1～E5の位置関係を表す側

50

面図である。

【図 2】本発明の取付け金具 B 鋸形状金具の形状を示す図である。

【図 3】本発明の物干しアーム本体平板 A の取付け完成斜視図である。

【図 4】物干しアーム取付け側面図である。

【図 5】本発明のアーム本体平板 A と取付け金具 B 鋸形状金具取合い断面詳細図である。

【発明を実施するための形態】

【0010】

以下実施形態を図示に基づき本発明を詳説する。

本発明は取り扱いが簡単である。

室内の取付け対象物があれば、誰でも設置でき、不使用の時は邪魔にならぬ様に、取外し片付けができるような単純な構造で、部品が少ない事を特徴とした構造である。

【0011】

図 1 は物干しアーム本体長方形 A に主軸穴 D と、この穴を中心とする円弧上に配置した [図 2] の鋸形状金具 B の挿入穴 E 1 ～ E 5、の挿入穴の位置関係を示す側面図である。

図 2 は取付け金具の鋸形状金具 B、この金具は主軸穴と主軸穴を中心に円弧上に開けた穴 E 1 ～ E 5 の 1 カ所同時に差す金具で柱、建具他取付け対象物の厚さに合わせ E 1 ～ E 5 と変え、取付け対象物を挟むための金具この鋸形状金具は柱、建具他取付け対象物をテコの原理で挟み物干しアーム本体を固定、そのため鋸形状金具の両足部に滑り止めゴムチューブを巻いてある。

図 3 はアーム本体平板 A を柱、建具他取付け対象物の厚み調整用鋸形状金具 B をセット取り付けた完成斜視図である。

2 枚の物干しアーム平板 A を設置し竿を掛け多くの干し物ができ、単体でも直接ハンガーをつけることができ、引き戸の場合は物干しアーム本体平板の厚みのみで建具を閉めても隙間は殆どないといえる。

図 4 はアーム本体平板 A と金具 B と金具挿入穴 E 1 ～ E 5 関係を示す側面図である。

厚み調整用鋸形状金具 B を主軸穴 D と調整穴 E 3 に差し柱、建具他取付け対象物に取り付けた例の側面図である。

図 5 はアーム本体平板を鋸形状金具 B で金具挿入穴 E 3 と D に挿入し柱対象物に取り付けた例の詳細図である。

【符号の説明】

【0012】

A アーム本体平板

B 鋸形状金具

C 柱、建具他取付け対象物

D 主軸穴

E 1 ～ E 5 取付け対象物厚み調整複数穴

F 竿掛け溝

G ハンガー掛け穴

H 物干し竿例

I 鋸形状金具滑り止めゴムチューブ

ア 鋸形状金具跨ぎ寸法

10

20

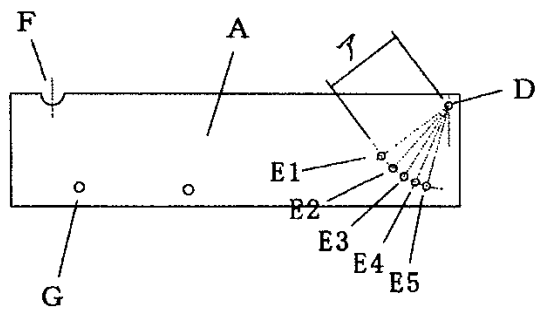
30

40

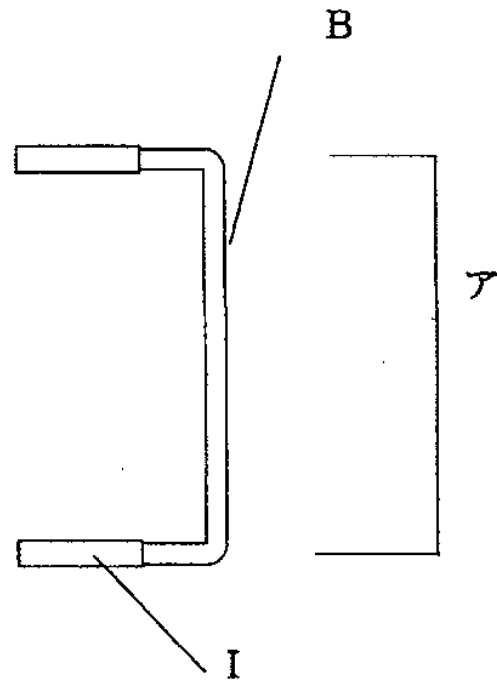
50

【図面】

【図 1】



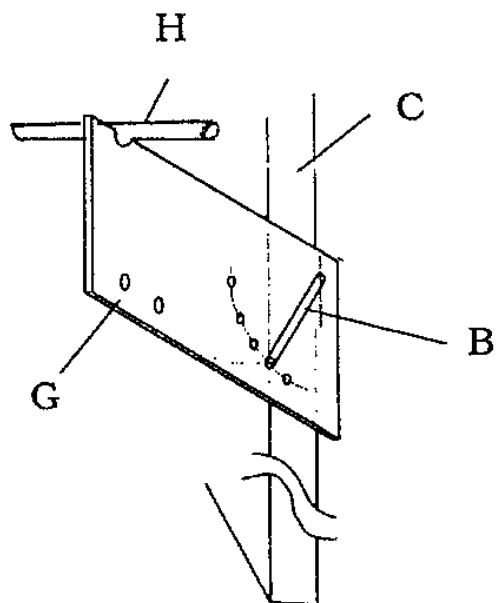
【図 2】



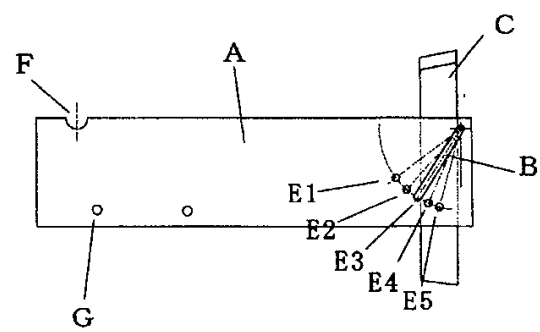
10

20

【図 3】



【図 4】

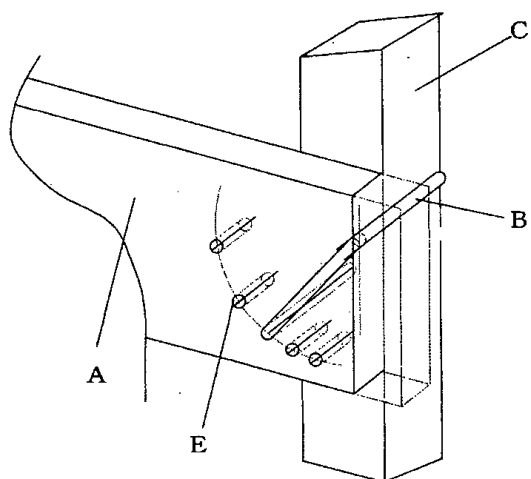


30

40

50

【図 5】



10

20

30

40

50

フロントページの続き

(56)参考文献 実開昭49-057239 (JP, U)
実開昭63-103593 (JP, U)
実公昭49-012343 (JP, Y1)
(58)調査した分野 (Int.Cl., DB名)
D06F 57/12